

2004年 月刊「HOUSING」調べ 住宅建築に関する意向調査

2004年8月30日(月)

株式会社リクルート
住宅ディビジョンカンパニー
ディビジョン長 岩泉匡洋

月刊「HOUSING」では、住宅建築に対する意識や住まいへの希望を把握するために、注文住宅の建築予定者への調査を1997年より毎年実施しています。2004年の傾向がまとまりましたので、経年比較とあわせてご報告いたします。

<< TOPICS >>

**家づくりの際、二世帯同居を予定する世帯は減少しているが、
土地探しの際は、“親や子供の住まいと近いこと”を重視する人が増加している模様**

入居予定世帯構成「二世帯」は17.2%で、3年連続の減少(02年20.6%、03年19.2%、04年17.2%)。

土地探しの重視項目「家族・親類の近く」24.1%と昨年比4.0ポイント増加.....3P

その他調査結果より

「オール電化住宅」「縦に広い空間設計」を重視する度が高まる 4P

住宅建築のきっかけ「税制が有利」「金利が低い」が昨年比増加 5P

工法選びに「耐震・免震性能」へのニーズが高まる 6P

本調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

http://www.recruit.co.jp/corporate/support/inquiry_press.html

HOUSING

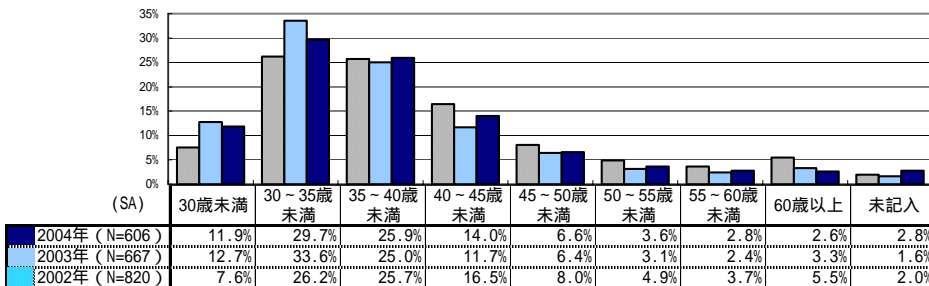
調査概要

- 調査目的 ... 注文住宅を建築する予定のある人の、住まいの希望や住宅意識を把握する。
- 調査対象 ... 月刊『HOUSING』の読者で、新築・建て替えの計画がある、若しくは検討し始めている世帯。
- 調査方法 ... 郵送法 事前にアンケート協力の許可を得られた世帯に発送
- 調査期間 ... 2004年5月6日～2004年5月18日
- 集計数 ... 調査票発送数 : 728票
 回収数 : 615票 (回収率84.5%)
 最終集計対象数 : 606票

回答者プロフィール

世帯主年齢 (全体/単一回答) (2002-2004年)

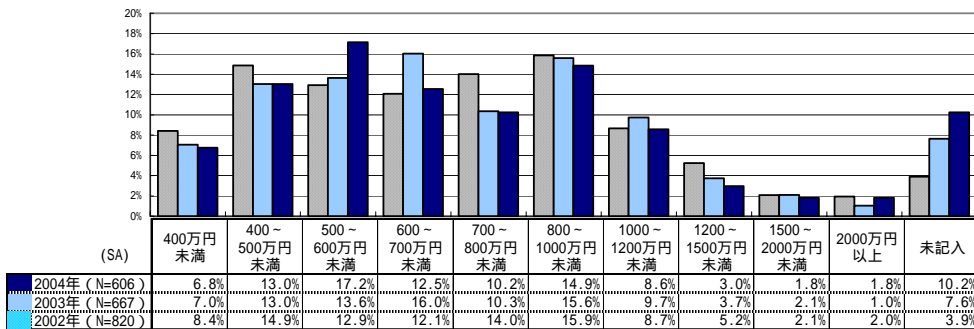
[平均年齢] 37.5歳(2004年) / 37.1歳(2003年) / 39.6歳(2002年)



世帯主年齢は「30代」がボリュームゾーンを形成しており、全体の5割超(55.6%)を占める。次いで、「40代」が20.6%と全体の約2割のシェア。2003年調査結果と比較すると、30歳代前半の割合が若干減少し、その分、40歳代前半に増加が見られる。配偶者年齢は「30～35歳未満」35.4%を頂点とした山なりの分布。「20代」の割合が世帯主と比べ、目立つ(19.8%)。

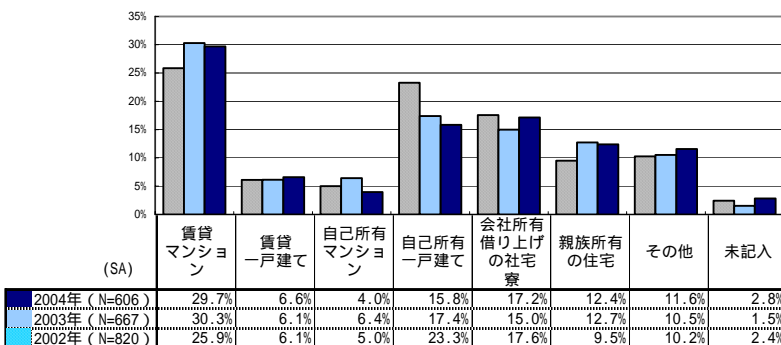
世帯年収 (全体/単一回答) (2002-2004年)

[平均年収] 710.1万円(2004年) / 711.6万円(2003年) / 805.1万円(2002年)

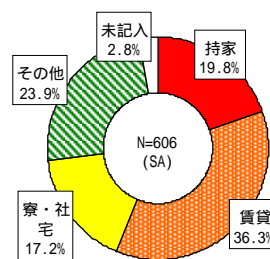


世帯年収は400～1000万円未満に幅広く分散。2003年調査結果と比較すると、500万円台の層が増加。反対に600万円台の減少が目立つ。

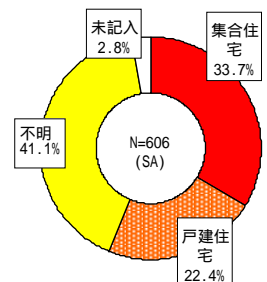
現住居の種類 (全体/単一回答) (2002-2004年)



持家/賃貸別 (全体/単一回答) (2004年)



集合/戸建て別 (全体/単一回答) (2004年)



TOPIC

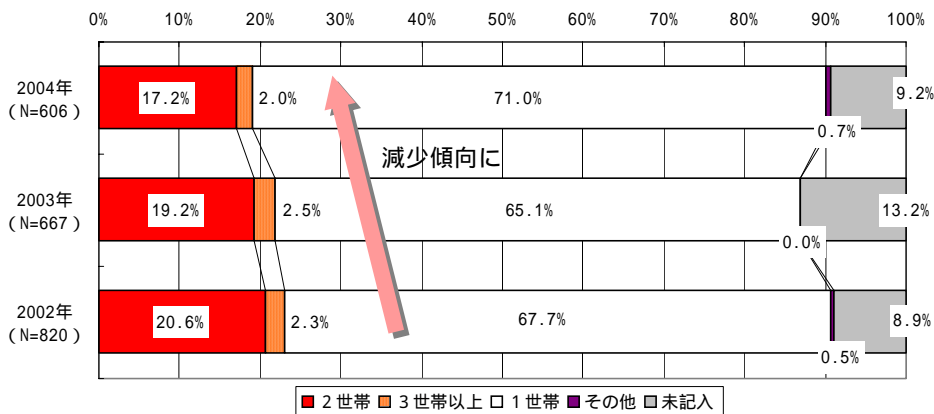
入居予定「二世帯」減少、「家族・親類との近居」希望増加

「二世帯」で入居予定の世帯は年々減少している。また、多世帯（二世帯、三世帯以上の合計値）で入居予定の世帯も同様に減少している。

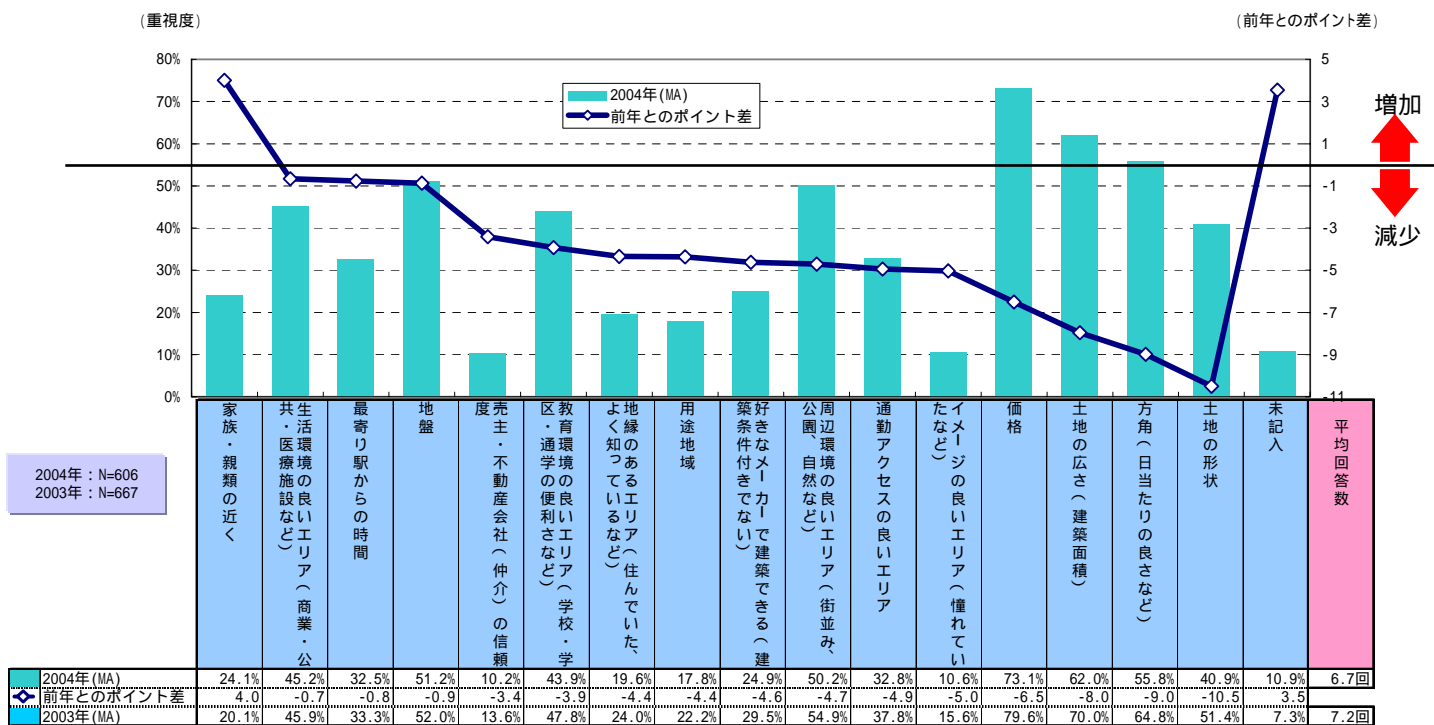
土地探しに際して重視する項目は、昨年に比べ「家族・親類の近く」のみ上昇している。

「二世帯」で入居するよりも、近くに住む「近居」の形を希望するケースが増えていると考えられる。

入居予定世帯構成 [全体/単一回答] (2002-2004年)



土地探しの重視項目 [全体/複数回答] (2003-2004年)



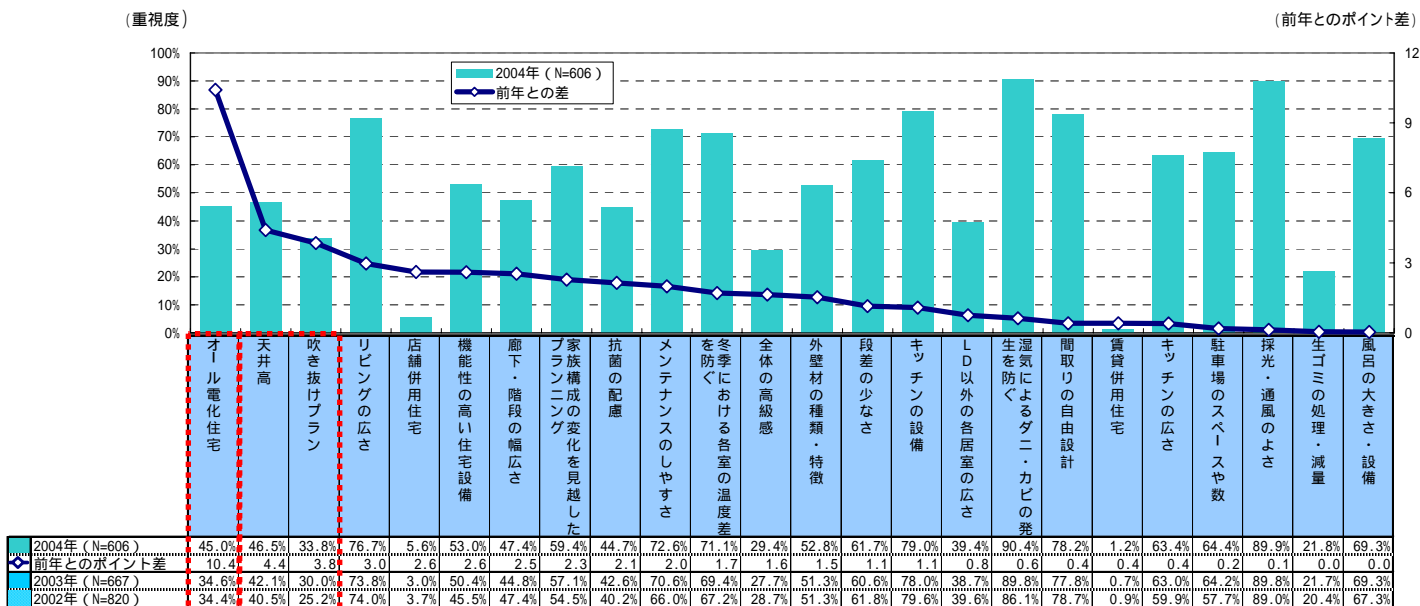
TOPIC

「オール電化住宅」「縦に広い空間設計」の重視度増加

住宅建築に関して重視する項目では、「オール電化住宅」の重視度が最も増加。「天井高」「吹き抜けプラン」が増加していることから、縦に広い空間設計の人気の伺える。

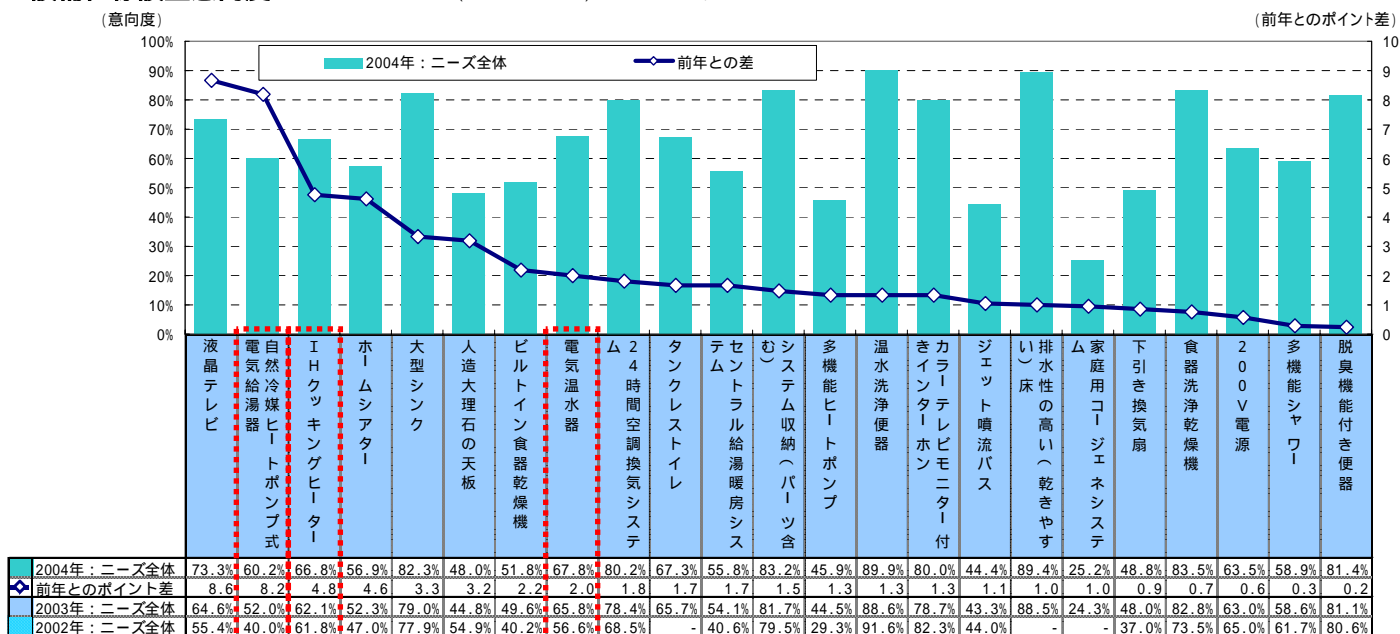
採用したい設備では「液晶テレビ」が前年とのポイント差では最大。「自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器」「IHクッキングヒーター」のニーズが増加していることより、電化住宅への人気がうかがえる。

住宅建築に関して重視する項目 [全体/複数回答] (2002-2004年) 全56項目のうち前年差プラスポイント上位24項目を表記



縦に広い空間設計

設備仕様設置意向度 [全体/複数回答] (2002-2004年) 76項目のうち前年差プラスポイント上位23項目を表記



電化住宅に興味を持つきっかけとなる「IHクッキングヒーター」

いわゆる「エコキュート」のこと
電化住宅の熱源となる

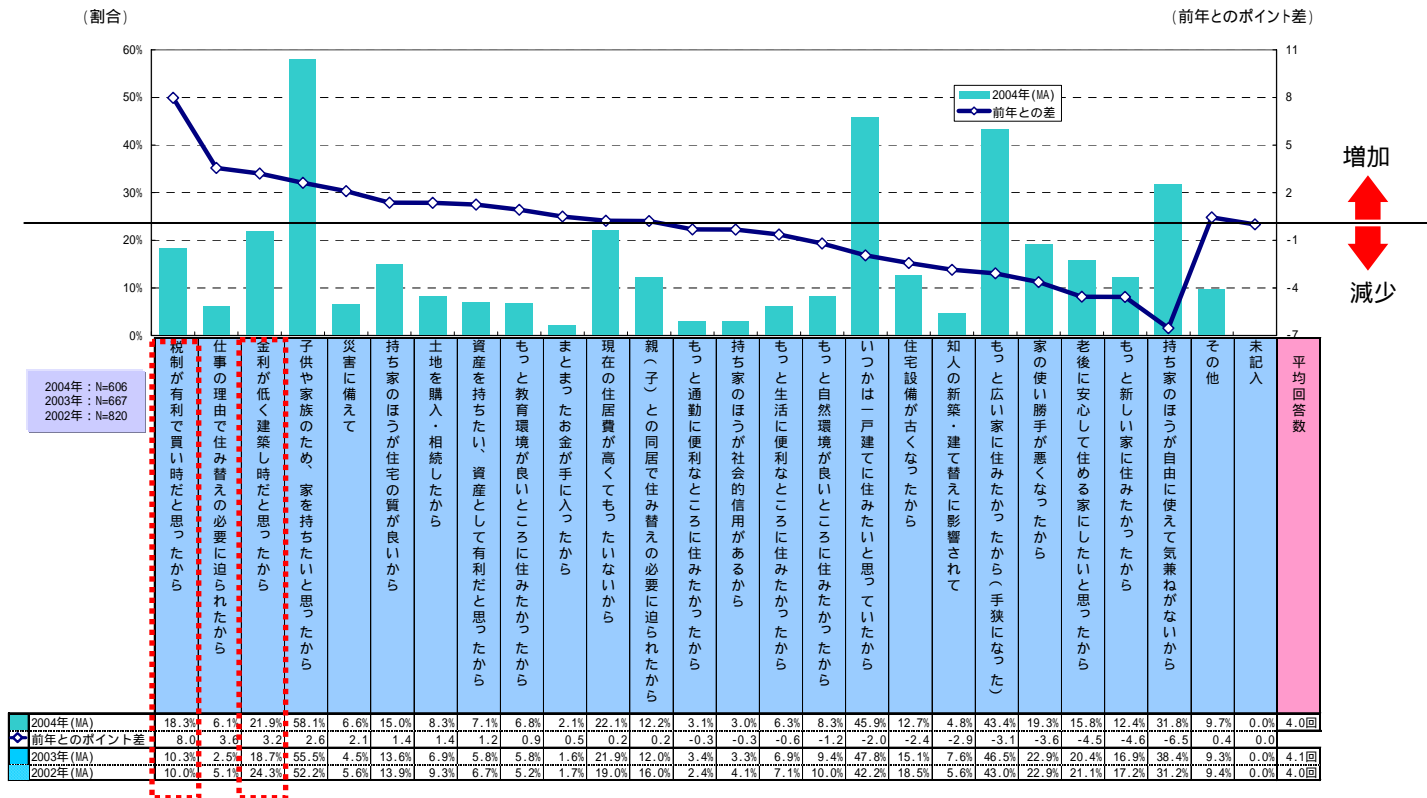
TOPIC

きっかけ「税制が有利」「金利が低い」が昨年比増加

前年に比較して「税制が有利」「金利が低い」との回答が増加した。

住宅ローン減税の現行制度適用最終年であることや、金利の先高感が住宅建築のきっかけに影響していると考えられる。

住宅建築のきっかけ (全体/複数回答) (2002-2004年)



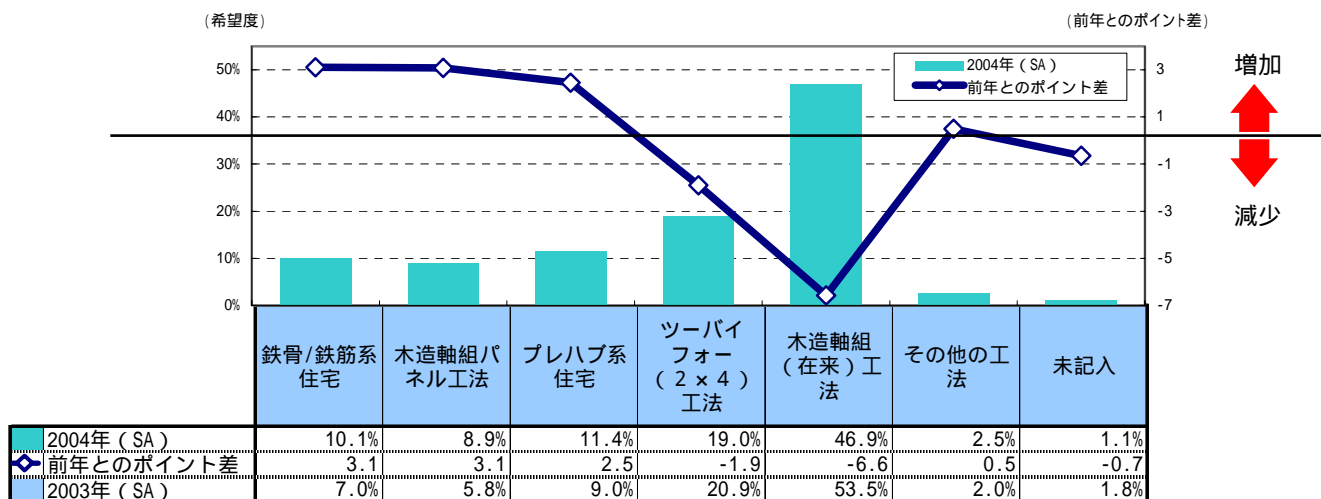
TOPIC 工法選びに「耐震・免震性能」へのニーズが高まる

希望工法では「木造軸組(在来)」の希望が高いが、「プレハブ系」「鉄骨/鉄筋系」「木造軸組パネル」の増加が見られる。

依頼先に興味を持った理由を希望工法別に見ると、上記の工法は「耐震・免震性能」の数値が高い。

昨年地震が多発したことや地震予知報道の影響等により、工法選びに「耐震・免震性能」を求めた結果、「プレハブ系」「鉄骨/鉄筋系」「木造軸組パネル」が前年より増加したと考えられる。

新居の第一希望工法 (全体/単一回答) (2003-2004年)



依頼先に興味を持った理由 (全体/複数回答) (新居の工法:第一希望・2004年) 全62項目のうち住宅性能に関する部分のみ表示

